

## 令和4年度長久手市放課後子ども教室運営委員会

開催日時	令和5年3月13日(月曜日) 午後1時15分から午後2時まで
開催場所	長久手市清掃センター(ながくてエコハウス) 集会室
出席者氏名 (敬称略)	委員長 長久手市立西小学校長 鈴木 英代 職務代理人 主任児童委員 藤倉 須美恵 委員 長久手市国際交流協会 足立 周子 委員 長久手市立西小学校PTA会長 田中 誠二 委員 西小学校区まちづくり協議会長 吉田 貢 委員 絵手紙サークルわたぼうし 青山 みどり 委員 長久手市教育部教育総務課長 貝沼 圭子  (事務局) 子ども部次長兼子ども未来課長 飯島 淳 同児童館長 加藤 雄一 同課長補佐兼児童係長 柴田 浩善 同児童係主任 今津 正文 同東小放課後子ども教室コーディネーター 伊東 久範
欠席者氏名	委員 愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科教授 田村 佳子
審議の概要	1 あいさつ 2 議題 (1) 令和4年度長久手市放課後子ども教室について (2) 放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型運営について (3) その他 3 その他
公開・非公開の別	公開
傍聴者人数	0名
問合せ先	子ども未来課 電話：0561-56-0616

### 会議録

#### 1 あいさつ

#### 2 議題

##### (1) 令和4年度長久手市放課後子ども教室について

##### 事務局

(資料1に基づき説明)

- ・参加決定者数について(令和5年1月31日現在)
- ・月別参加率について
- ・体験プログラムの実施について(令和5年1月31日現在)

##### 委員

小学校の全生徒のうちどれくらいの児童が参加していますか。

**事務局**

概算ですが、全学年の場合は、西小14%、南小18%、東小19%、北小12%です。低学年の場合は、割合も上がり、西小27%、南小37%、東小53%、北小24%となります。

**委員**

参加者がすべて参加できるようになったのはいつからか。参加傾向はどうか。

**事務局**

令和2年度下半期から週1回ですが、全ての児童が参加できるようになりました。参加傾向も昨年度と比較して上向きです。

**委員**

夏季休暇時に参加率が下がらない小学校があるのはなぜですか。

**事務局**

北小と南小は夏季休暇時に、参加曜日を固定しない参加を試行的に認めたことによるものです。

**委員**

体験プログラムが小学校によって差があるのはなぜですか。

**事務局**

体験プログラムのボランティア講師は、小学校のお近くにお住まいの方が対応していただくことが多く、コーディネーターも努力はしているが、市内全域まで対応できない方が多いためです。

**委員**

いろいろなプログラムを実施しているが、やりやすいことしかやっていないのでは。例えば、ドローン教室は、昨年度の会議で災害時にも活用できるからと考えていたのでよい試みだという印象を受けたが、今年は1校でしか実施していない。

**事務局**

体験プログラムは、各子ども教室のコーディネーターがボランティアと調整して計画しています。ドローン教室は、昨年度は、主にドローンというモノに関心を持ってもらおうという考えから実施したことで、隔年でもよいと判断した経緯があります。

(2) 放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型運営について

**事務局**

(資料2、資料3に基づき説明)

**委員**

どのような形で運営していくのか。それぞれの目的が薄れてしまうと思います。

**事務局**

現在、多目的棟があるところでは、現状部屋を分けて運営しているが、それぞれの児童が交流するということは行っていませんでした。一体型によって、時間帯で、預かりの形態を変えることを考えています。放課後子ども教室は体験の場で、放課後児童クラブは、共働き家庭のための預かりの場となっているが、クラブの子たちも体験の場を与えたいと考えています。かつては、放課後子ども教室でも、週5日の実施をしていたが、

参加率は低い状況でした。この2つの事業をうまく融合して、有効活用できないかと考えています。近隣の日進市や、関東や関西の先進団体も進めている事業です。

#### **委員**

受益者負担はどのように考えていますか。

#### **事務局**

現状、放課後子ども教室は、保険料のみだが、今後は参加日数に応じていただくことも考えています。放課後児童クラブにおいても保育時間の延長によっては、利用日数や利用時間帯によって検討していく必要があります。

#### **委員**

公設公営で安心感、学校の施設を使い、元教員の方々に運営をしているものが、民間になったことで、どのように質を保っていくのですか。

#### **事務局**

まず、事業者を選定する中で、既存の会計年度任用職員を優先して雇用していただく仕様に公募をかけることを考えています。また、預かり人数に応じた人数配置も仕様に盛り込むことで、子どもが安心できる場所にしたいと考えています。なお、業務委託という形なので、市の関与を受けながらの運営を考えているため、これらからも質は保てると考えています。

### (3) その他

#### **事務局**

特になし。

### 3 その他

特になし。

#### **委員長**

事務局はここで出た意見を運営にしっかり活かしてほしい。

#### **事務局**

本日も忙しい中集まっただき、また貴重な意見をいただき感謝する。前年度の会議で十分に回答ができなかった点も含めて、今日いただいた意見を検討していきたいと考えています。